



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
https://tsukuba-net.jp



2025年10月29日 vol.86

最近の選挙では、既成政党への不満から新たな政党の候補者に支持が集まっています。その背景には、ますます広がる経済格差やそれによって置き去りにされたと感じている人たちの不満があると思われれます。さらに、SNSの活用により、多くの「いいね」という賛同を集めることで、デマやフェイクニュースなどの不確かな情報が瞬時に拡散され、それが選挙に大きな影響を及ぼしていると考えられます。

特に、外国人問題を大きく取り上げる右派ポピュリスト政党に支持が集まっています。この状況について、法政大学教授の杉田敦氏（政治経済学）は、「困窮した時に、人々は連帯よりも排除に向かいがちであるという社会心理的な傾向である。20世紀初頭のヨーロッパの歴史でも、経済危機の中で民衆の支持を集めたのは、社会的連帯よりも少数排斥であった。」（※）と指摘しています。現在の日本でも同じような動きが活発化しています。

経済的な困窮は外国人がもたらしたのではなく、非正規雇用の増加や、一部の投資家の過大な利益に対して十分な税金が課され

## 対話でつくる市民のネットワーク ～めんどくさいには訳がある～

ちょっと待った～  
情報源を確認して～!!



ていないことによる、いびつな富の配分構造など、様々な要因が絡み合っています。しかし、一部の政治勢力が問題を短絡的に解釈し感情に訴えることで、分断を生んでいるのではないのでしょうか。

SNSをきっかけに、政治に関心を持つ人は増えました。一方、SNSでは、短いメッセージの応酬になりがちで、議論によって様々な視点を引き出し、対話を深め合意を形成していくのは困難です。だからこそ、面倒でも対話を重ね、時間をかけて合意することが大切です。

社会不安が分断を生んでいる今、私たち市民ネットは、一人ひとりがかけがえのない市民としてその存在が認められ、人権が尊重される市民社会を目指したいと考えます。

そのために、政治への「市民参加」、「情報公開」、対話による「合意形成」を丁寧に進め、市民のネットワークを拡げていきます。

## まちづくりカフェ

県議会・市議会の報告を兼ね、市民ネットの代理人（県議・市議）を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にお出かけください。

2025年12月23日（火）  
10:00～12:00

つくば・市民ネットワーク事務所  
つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1階

2026年1月16日（金）  
10:00～12:00

荃崎交流センター 研修室  
つくば市小荃318

肥料がプラスチックの殻に入っている

これは、水稻の慣行栽培では広く使われているプラスチック・コーティング肥料のことだが、消費者にはあまり知られていない。

この肥料は稲作に必要とされる成分がプラスチック殻に入っており、水中にある間に少しずつ溶け出していくものだ。つまり、肥料を徐々に効かせることで無駄を少なくし、また厳しい夏の追肥作業が不要になることから急速に普及した。実はすでに20年以上の実績がある。

しかし、他のプラスチック

製品と同様、便利なものに必ずといっていいほどつきまとう「環境」課題。肥料がフィル

ムから出てしまってもその「殻」はそのまま残り、水路を伝って流れ出したものは細かく砕け、いわゆるマイクロプラスチックとなつて長い間環境中に残る。

計算すると年間約4トンの肥料殻がつくば市の水田から環境中に出されていることになる。実際、霞ヶ浦に流れ込むあたりで水採取すると肥料のプラスチック被膜殻が多かった、という結果が出て

いる。

農林水産省もようやくその対策を呼びかけ始めた。そこでつくば市の対策を質問した。

現在のところ、生産者の自助努力に任されているが、これからの対策としては、プラスチック割合の少ない肥料に切り替えることの推奨、また水管理等で物理的に流出を食い止めることを、農業者に積極的に働きかける、とのこと。期待したい。

マイクロプラスチックの細かいものはフィルターでも取

りきれず、水道水にもすでに含まれているそうだ。少しでもその発生源を減らすにはどうしたらよいか、今後も考えていきたい。

一般質問項目

- つくば市立学校におけるスクール・カウンセラー及びスクール・ソーシャルワーカーについて
- つくば市の水田における被覆肥料の回収状況について
- つくば市児童生徒の読み書き困難支援



つくば市議会議員  
市民経済委員会委員長  
あさの えこ

肥料のプラスチック殻流出の様子 (株)ピリカ事業紹介より



肥料のプラスチック殻の拡大写真

性に関する権利は基本的人権  
～「包括的性教育」の導入を!～

性暴力事件や予期しない妊娠が起因の乳児遺棄が後を絶たない。学校での性教育は限定的で、避妊・性的同意・性暴力防止・性の多様性等を体系的に学べておらず、子どもは不正確なインターネット情報に晒されている。大人世代も知識不足なため、全世代が認識を新たにすることが必要だが、そのためには。

一般質問項目

- 子どもや若者のからだ・心・性の悩みに寄り添う包括的性教育について
- つくば市におけるLGBTQに関する取組について

つくば市議会議員  
福祉保健委員会委員  
川村 直子



ユネスコが2009年に策定し、欧州やアジア諸国の学校教育で取り入れられている「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」は、科学的根拠、人権尊重、ジェンダー平等を理念とし、5歳から18歳までの発達段階に応じて、性、身体、人間関係、暴力防止などを体系的に学ぶものだ。日本の従来からの「性教育」や、性暴力を防ぐための「いのちの安全教育」はこの一部に留まる。そのため、市としてユネスコのガイダンスに基づく「包括的性教育」を体系的に導入すべきであると提案した。

現在の性教育に足りないものは「自分の身体のことを自分で決める権利」への理解だ。妊娠する性である女性はもちろん、誰もが身体の自己決定権が守られる社会を実現するためには、幼少期からの一貫した教育により、自分も他の人にも同じように人権があると学ぶ必要がある。これにより加害・被害双方を生まない社会基盤を築くことができる。

市では全校で助産師など外部講師の協力を得て性に関する授業も行っている。今後はユネスコの指針を踏まえて既存の性教育を整理し、大人も共に学ぶ姿勢で、授業回数を増やし、体系的な「包括的性教育」の充実を進めるよう要望した。

市では若者の性や心の相談拠点「青のカフェ」が始まり、避妊等の情報も積極的に伝えられ、注目している。子どもや若者に「性に関する基本的人権」を伝え、それを社会が制度的に支えることが、不可欠である。

2025年9月定例会議 議決結果

| 議決の結果<br>(○：賛成、×：反対)                  |                                        | 会 派 名 |  | つくば・市民ネットワーク  | つくばクラブ                     | Next つくば             | 公明党つくば  | 緑粋会 | ワニナルつくば | 新・つくば民主主義の会 | つくばチェンジチャレンジ | 日本共産党つくば | 創生クラブ |
|---------------------------------------|----------------------------------------|-------|--|---------------|----------------------------|----------------------|---------|-----|---------|-------------|--------------|----------|-------|
| 議案第41号                                | つくば市立保育所条例の一部を改正する条例について(※1)           | 可決    |  | ×             | ○                          | ○ ×：中村               | ○       | ○   | ○       | ×           | ○            | ×        | ○     |
| 請願7第4号                                | つくば市「生活保護業務等の不適切な事務処理」の原因究明を求める請願書(※2) | 不採択   |  | ○ ×：あさの小森谷    | ×                          | ×                    | ○：市原    | ×   | ×       | ×           | ○            | ×        | ×     |
| 各会派の所属議員(敬称略)<br>*は会派代表(議員数 28 議長：黒田) |                                        |       |  | *川村、あさの川田、小森谷 | *小久保、伊藤、小村五頭(黒田)、神谷、木村清、塩田 | *飯岡、田代、市原樋口、中村、木村修塚本 | *渡辺梅沢篠内 | *榊原 | *青木     | *酒井         | *川久保         | *山中      | *高野   |

※1 公立保育所は、自由保育を実施し、障害の有無、国籍等によらない多様な子どもを受け入れるセーフティネット。今回上横場、高見原、城山の各保育所が廃止されることで、(2) 谷田部以南の公立保育所は岩崎保育所のみになり、保育施設に受け入れられない子どもが増えることを懸念し、反対した。



# 教員による子どもへの性暴力をなくすために



つくば市議会副議長  
総務文教委員会委員  
小森谷 さやか

## 一般質問項目

- ・香害について
- ・教職員等による子どもたちへの性暴力をなくすための取組について

“あつてはならないことだが実際は枚挙に暇がない。

質問のきっかけは、教師グループがSNSで児童の盗撮画像を共有していたというおぞましいニュースだ。同様の記事を調べていくと、例えば現役の校長が逮捕された事件では、中学生をレイプしておきながら「同意があった」と無罪を主張する等、本当に許せない！と思う。

今までのやり方ではダメだ、ということだ。

来年12月施行予定の日本版DBS（子どもに接する仕事に就く人の性犯罪歴を確認し、子どもの性被害を防ぐ制度）も、再犯を防ぐためには有効だが初犯を防ぐにはどうしたらよいのか。

初犯を防ぐためになすべきことはないかと調べていくと、2022年に新規施行された「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」に行き当たった。この法律は、相次ぐ教職員による性暴力に対し、議員立法として衆参両院全会一致により成立したもので、さまざま踏み込んだ規定がされていた。

- ・教職員と児童生徒の間に性的同意は成立し得ないこと

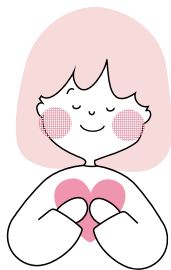
- ・性暴力の訴えがあった時はその『疑い』が生じた時点で、学校の設置者（つくば市の場合は教育委員会）に報告すること
- ・性暴力があると思われるときは、必ず警察へ告発すること

右記のような新たな法律の規定は学校現場に徹底されていないと感じたので、しっかり周知することを求めた。また自己チェックシートの活

用やワークショップ形式の研究等、先進自治体の取り組みを紹介した。専門家によると被害に遭った子どもたちの“その後”を伝えることも歯止めになるようだ。例えば「その時」は何をされたかわからなくても、人生を大きく歪められてしまう。「自分は汚れてしまった」という自己への嫌悪感、「死にたい」「消えたい」という希死念慮、不眠や食欲不振、さらには摂食障害、自傷行為など命

に関わる事態へと進んでしまうことがある。そこまでいなくても、勉強に身が入らなくなり進学を諦め、大人になっても他者と親密な関係を築けず孤立している。そんな訴えが被害者たちから発せられている。まさしく「性暴力は魂の殺人」なのだ。

「無い」と信じたい気持ち振り払って、子どもたちを性暴力から守る仕組みを共に作っていきましょう。



## あなたの家も将来空き家にならずに回避するため、早めに相続について考える



つくば市議会議員  
都市建設委員会副委員長  
川田 青星

## 一般質問項目

- ・つくば市の空き家対策について
- ・放課後の居場所について
- ・既存の資源を活用した観光推進について



はない。2022年度の実態調査では、市内に千軒以上の空き家があることが明らかになった。団塊の世代が全員後期高齢者となり、空き家の数は今後ますます増加するところが予想される中、市ではどのように対処していく方針か質問した。

### 【空き家の“活用”】

つくば市には空き家活用を促す仕組みが存在する。一つは空き家の所有者と利用し

よう、運営・維持費へも支援を拡充するよう要望した。

### 【空き家の“予防”】

既に空き家となっている物件の活用のほか、今後空き家を増やさないための予防策も必要だ。実態調査では空き家となった原因として「転居」に次いで「相続により取得」が26パーセントとなっている。突然の相続で戸惑うことがないよう、家族で「終活」を考えることが重要だ。その一助として期待できるのが市の空家等対策出前講座。市内の空き家の現状や、空き家となる前に対処することの必要性など、空き家について基本から知ることができる。これまでは民

## 旅費条例の修正案、全会一致で可決！

市民ネットが提案

今年4月に国家公務員旅費法が改正されたことに伴って、つくば市職員の旅費条例を改正する議案が提出された。私たちが問題視したのは、市長が海外出張をする際に旅客機のファーストクラスに乗ることもできるようになる、という部分（今まではビジネスクラスまで）。改正理由を聞くと、国の改正に準じたものでありファーストクラスに必ず乗るものではない、という答弁。しかし、ファーストクラスと言えはかなりの高額であり、市民が物価高で苦しんでいる状況にそぐわない、と修正案を提出。宿泊費等を含め、市長を副市長等と同等（旅客機はビジネスクラスまで）とすることに全議員の賛同を得た。

加えて、海外出張においてその目的を事前に公表する、航空券は早期割引や相見積もりを取るなど経費削減を図る、出張後は速やかに報告する等の運用指針策定も求めた。

生委員や区会連合会の会議の場において開催することがほとんどであったため、今後は区会ごとの開催や高齢者団体にも利用してもらえるよう、周知を要望した。出前講座を通して、ぜひ身近な人と持ち家について考えてもらいたい。





老朽化した下水道管



改築後の下水道管

## うののぶこ県政レポート

### 下水道管路の特別重点調査

—— 安全は守れるか? ——



今年1月、埼玉県八潮市で下水道管路の破損により道路陥没事故が発生。トラック運転手が転落し、大量の汚水に救助作業が阻まれ、遺体発見に3ヶ月以上かかりました。事故後に破損箇所を調査した結果、20cmあるはずの管の厚みが腐食して半分以下になっていました。昨年の法定点検で見逃され、今回の事故に至ったようです。

このような事故を未然防止するため、国は自治体に特別重点調査を指示。県議会に調査費用1億2800万円を含む補正予算案が提案されました。そこで、特別重点調査の内容と、結果をどう安全確保に活かすのか質問しました。

調査対象は管径2m以上で設置から30年以上経過している箇所です。調査自体は既存の予算で実施中で、9月に中間報告が国から公表されました。国が劣化判定基準を厳格化したため、おおむね1年以内に対応が必要な管路延長が、茨城県は全国で2番目に多い10.5kmと発表され、市民から心配する声が寄せられています。

一方、道路陥没につながる地盤の空洞調査では、茨城県はゼロだったとのこと。「来年2月までに全調査を終え、対策工事の完了に全力で取り組む」との土木部長の答弁でした。

下水道管路の更新作業を行うには、流量を減らす必要があり、バイパスの設置など、大規模な工事になります。例年の更新工事は700m~1km規模のため、10.5kmの対策工事を1年以内の実施できるのか懸念されます。県では国に技術的・財政的支援を求める一方、対策工事までは地盤空洞調査を定期的の実施して安全を確保していくとのことでした。

八潮市のような事故を防ぐため、調査と工事に優先順位を上げて取り組むよう、引き続き求めていきます。

命と生活をまもるための

#### 無料 生活相談会

日々の生活で、お困りの方はいませんか？  
就労相談や生活保護などの公的支援は届いていますか？ 相談会では、相談される方にマッチした解決策と一緒に探していきます。



2025年12月21日(日)

14:00~16:00

つくば・市民ネットワーク事務所  
(つくば市二の宮2-1-3)

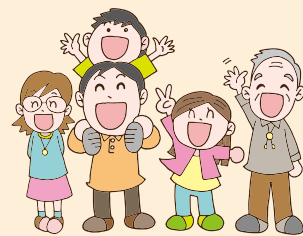
主催:生活困窮ささえあい茨城

#### 市民の声で、市政は変わる!

今年度、「道の駅基本構想策定支援事業」の候補地として、池田地区と上原・松野木地区の2か所が予定されていました。このことを知った市民の一人が、通学路や周辺環境への影響を懸念、市への質問・要望を行いました。また賛同した住民と共に、地域を回って署名集めを実施、その際に、地域の方から「道の駅建設計画は全く知らなかった。知らせてもらって良かった」という声もあったそうです。

こういった住民の声を受け、市は住民アンケートを実施。上原・松野木地区への建設については反対の意見が多数だったため、市は事業化への検討を取り止めることとしました。

何もしなければ進んでいた事業。市民の活動によって、計画を変えられた事例でした。



#### 上映会を開催中です!

市民ネットでは、映画を通して様々な社会課題を知ろうと自主上映会を開催しています。

9月28日には、原発推進派の核物理学者と原発反対派の監督が、2人で世界各地の最終処分場候補地を巡る「地球で最も安全な場所を探して」の上映会を開催しました。

参加者は91名。上映後のおしゃべり会では「廃棄物の処理方法が無いのでは原発は無理」「再生可能エネルギーを推進したい」などの声がありました。

次回以降の上映会は右のように予定しています。映画で提起される問題は、簡単に解決するものばかりではありませんが、まずは、知ることから始めませんか。



1951年からアメリカ国内で始まった核実験によって全米の子どもたちが被曝した。被曝を証明するために集まった乳歯は、実に32万本。立ち上がった女性たちの行動がケネディ大統領を動かし、ついに大気圏内核実験は中止される。女性たちと歯の抜けた子どもたちが、放射能から北米大陸を救った。(2023年)

#### サイレントフォールアウト

2025年12月14日(日)

14:00(受付13:30) 参加無料  
つくば国際会議場 中会議室 202

参加申込



「やってみたい」がいっぱいある。  
子どもたちの遊び場「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。  
遊んで、転んで、立ち止まって…誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、子どもたちのかけがえのない「じかん」を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。(2022年)

#### ゆめパのじかん

2026年1月6日(火)

14:00(受付13:30) 参加無料  
コリディオ つくば市民センター 大会議室

参加申込



2026年2月開催予定

ぼけますから、よろしくお願いします。

娘である「私」が、認知症の母と、彼女を献身的に支える父の介護生活をカメラに収めた作品。詳細はお問い合わせください。